

「Visa's Everywhere Initiative Japan」 最優秀賞決定

ピクシオが、80超の提案の中から
日本初開催の「Visa's Everywhere Initiative Japan」の最優秀賞に決定

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:安淵聖司、以下「Visa」)は、日本初開催の「Visa's Everywhere Initiative Japan」の最優秀賞に、ピクシオが決定したことを発表しました。ピクシオには、優勝賞金200万円に加え、VisaおよびVisaのパートナーからのメンタリングならびにサポートが提供されます。

東京 2020 オリンピック開催まで 2 年を切り、日本政府が掲げる 2027 年までにキャッシュレス決済比率を倍増し、4 割程度とする目標¹ 達成を推進するため、Visa では、デジタル・ペイメントが消費者に選ばれるよう環境整備に取り組んでいます。今回の「Visa's Everywhere Initiative Japan」では、革新的なデジタル・ペイメント・ソリューションの普及を推進する提案をスタートアップの皆さんに呼びかけました。Visa では、東京 2020 オリンピックに向け、革新的な決済イノベーションを導入したいと考えています。

今回「Visa's Everywhere Initiative Japan」では、3 つの課題に対する 80 超の提案の中から、9 社が最終選考に勝ち残り、去る 9 月 4 日、東京・丸の内にてプレゼンテーションを行いました。

最優秀賞を受賞したピクシオは、ブロックチェーンをベースとした個人データ交換プラットフォームを提供しており、同プラットフォームは安全かつ GDPR に準拠しているとのこと。今回のピクシオの提案は、ワンストップ・ウォレット・サービスで、毎回の決済時に個人認証プロセスを経ることなく、シームレスな支払い体験を可能にするものです。

ピクシオのジャパン・ビジネスマネジャーのブルーノ・アブリユ氏は、「初開催の「Visa's Everywhere Initiative Japan」で最優秀賞に選ばれたことを大変光栄に思っています。当社のテクノロジーは、消費者のプライバシーを保護しながら、安全な個人データの収集、認証、交換を可能にします。今回の提案では、Visa のシームレスな支払い体験に、消費者がコントロールし、スムーズな個人データ転送を可能にする機能を追加することで、消費者およびビジネスにさらなる価値を提供できると確信しています。今後、Visa および Visa のグローバルネットワークと協働し、信頼性の高い便利で安全なデータおよびペイメント・エコミーを開発することを楽しみにしています。」と述べています。



優秀賞は、モバイル決済サービスを提供する株式会社 Kyash、また、特別賞には、ブロックチェーン技術の開発およびアプリケーションやサービスを提供するソラミツ株式会社が決定しました。

● 課題

課題 1

デジタル・ペイメント・ソリューションを加速するために、中小加盟店に対する価値と利便性の提供には、どのようなソリューションが考えられるでしょうか。

- 株式会社Kyash
- 株式会社Finatext
- 株式会社コンシェルジュ
- ソラミツ株式会社

課題 2

東京2020オリンピック開催期間およびその先において、訪日外国人に革新的なデジタル・ペイメント体験を提供するために、どのようなソリューションが考えられるでしょうか。

- 株式会社セブン・セブン・ハーツ
- ピクシオ
- クービック株式会社

課題 3

東京2020オリンピック開催期間中、競技場・関連施設において、観客および利用者向けに魅力のあるデジタル・ペイメント体験を提供するために、どのようなソリューションが考えられるでしょうか。

- 株式会社ワイレックス・ジャパン
- Touché Coolpay Pte. Ltd

Visa の代表取締役社長の安淵聖司は、次のように述べています。「日本初開催の「Visa's Everywhere Initiative Japan」にご参加いただいたすべてのスタートアップの皆さまに感謝を申し上げます。Visa では、本プログラムを通じて、ペイメント・エコシステムを成長させ、キャッシュレス社会に向けイノベーションを推進するために、スタートアップコミュニティの皆さまとの協働を継続してまいります。また、当社のペイメントテクノロジーにおける専門的知見、ならびに革新的な製品およびサービスを共有することで、スタートアップの皆さまと共に東京 2020 オリンピックに向け、デジタル・ペイメント・ソリューションの開発を加速していくことを楽しみにしています。」

● 審査員

- 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
イノベーション推進室長 テクノロジーサービス局次長
平田 英世氏
- シンクタンク・ソフィアバンク代表
藤沢 久美氏
- ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社 代表取締役社長
安淵 聖司
- ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社 ジャパンプロダクト統括部長
クラーク保坂 由美

「Visa's Everywhere Initiative」は、グローバルなイノベーション・プログラムで、将来のビジネス課題の解決、商品提案の強化、Visa の巨大なパートナーネットワークへの先見的解決策の提案をスタートアップ企業に呼びかけるプログラムです。「Visa's Everywhere Initiative」は、2015 年に米国で開始以降、開催国は世界各地に拡大し、北米、南米、ヨーロッパ、アジア、中東アフリカ地域の 40 ヶ国以上で展開されています。これまでに、2,100 社以上のスタートアップが参加し、131 社が入賞、そして 36 社が最優秀賞として選ばれ、延べ約 20 億ドルの資金が提供されました。

「Visa's Everywhere Initiative Japan」に関する詳細は、こちらをご覧ください。

<https://www.visa.co.jp/visa-everywhere/everywhere-initiative/initiative-jp.html>

1: 未来投資戦略 2018

* 本プログラムへの参加は、東京 2020 オリンピックへの参加ならびに準備への直接的関係を確定するものではありません。

###

ビザ・ワールドワイドについて

ビザ・ワールドワイド(以下、Visa)は、電子決済の世界的リーダーです。Visa のミッションは、最も革新的で信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。Visa が保有する最先端のグローバルなプロセッシングネットワークである VisaNet は、毎秒 65,000 件を超す取引を処理することができ、世界中に安全かつ信頼のおける電子決済を提供します。Visa は常にイノベーターであり続け、あらゆるデバイスを利用した商取引の発展を促進し、誰でもどこでも利用できる夢のキャッシュレス社会を実現する原動力となっています。世界がアナログからデジタルに移行しつつある今、Visa は自社のブランド、商品、人材、ネットワーク、および企業スケールを活かして商取引の未来を形作っていきます。詳しくは、usa.visa.com/aboutvisa (英語サイト)または www.visa.co.jp (日本語サイト)をご覧ください。